

# 事例3 和歌山県和歌山市（東京医療保健大学）

## 看護系

## 県内初の看護系大学の誘致を実施 年間約90名の入学定員確保に成功

### 事例の概要

- 和歌山市は大阪から約1時間の立地にあり、資源として日本赤十字社和歌山医療センターを有しています。地域としても医療への関心度が高い点が強みとなっています。
- 地域からの入学者確保には地方公共団体が積極的に関与しており、現在、毎年90名(定員)以上の入学者を確保することができています。

### 和歌山県 和歌山市

#### 基礎データ

- 人口：356,729人
- 面積：208.8km<sup>2</sup>  
※2020年国勢調査結果より
- 都市特性  
子育て、移住支援制度が充実しており、医療・福祉に対する関心も高い



#### キャンパス設置前の課題

- ①若年層の市・県外流出、老年人口の増加
- ②県の医療を支える人材の不足
- ③県外進学率 全国1位

### 東京医療保健大学

#### 基礎データ

- 設立年：2005年
- 本拠地：東京都品川区
- 学生数：2882名（2020年度）
- 学部：医療保健学部・看護学部
- 他地域のサテライトキャンパス：  
東京都世田谷区 東京都立川市  
千葉県船橋市

#### キャンパス設置前の課題

- ①キャンパス設置時の実習施設の確保
- ②設置に伴うハード面の整備
- ③少子化に伴う学生確保の難しさ

## 東京医療保健大学 おのみなと 雄湊キャンパス

#### 基礎データ

- 設置年度：2018年度
- 学生数：412名
- キャンパス面積：5,830m<sup>2</sup>
- 設置学部：和歌山看護学部
- ※2020年に大学院 和歌山看護学研究科開設、2022年に和歌山助産学専攻科開設

#### キャンパスの特徴

- 和歌山看護学部では、変化や多様性に富む地域社会への貢献のために、「わかやま学」をはじめ、和歌山県のことを知るための科目が設置されています。また、隣接する日本赤十字社和歌山医療センターでは多種多様な臨床現場での臨地実習を行うことができ、キャンパス最大の特徴になっています。

#### 設置にあたっての地方公共団体からの支援

##### 設置前支援

- 建物の無償譲渡
- 土地を減額し有償貸与
- 県内高校の進学意識調査
- 建物改修への補助

##### 設置後支援

- 県内高校の指定校推薦枠
- 日本赤十字社和歌山医療センターによる奨学金（卒業後に同センターへの就職を条件）

#### サテライトキャンパスの誘致・設置の沿革

年度	内容
2011	看護協会から県知事へ看護大学設立の提案
2016	和歌山県内の高校生へ進学希望状況の調査 学校法人青葉学園 東京医療保健大学 和歌山看護学部(仮称)の設置に係る協定書の締結
2017	日赤和歌山医療センターと協力し、実習先施設の高校生向けツアーを開催
2018	東京医療保健大学雄湊キャンパス設置
2020	大学院 和歌山看護学研究科開設
2022	和歌山助産学専攻科開設

## キャンパス設置の効果と課題

- 和歌山市では、「若年層の市外・県外流出、老年人口の増加」「県内の医療を支える人材の不足」「県外進学率が高い」といった課題を抱えていましたが、キャンパスの設置により、常時400名近い大学生が在籍しており、地域医療の充実と地域の賑わいが創出されています。また、地域医療の発展に向け、多様化する看護医療知識や技術を学べるよう、専門学校との4年制大学化に向けて県・市に加え、日本赤十字社和歌山医療センター及び東京医療保健大学との連携が図られた背景があります。



東京医療保健大学雄湊キャンパス 外観

### キャンパス設置の効果

- 和歌山県・市内の若年層の進学率・就職率の向上
- 県内の医療人材の確保
- 地域の賑わい創出

### キャンパス設置後の課題

- 小学校の跡地であることから、大学キャンパスとしては手狭であり、キャンパス活用の点で課題が生じている。

## 誘致のポイント

### ① 市・県・医療機関が一体となった誘致

- 本誘致施策では、和歌山県・和歌山市の2者が日本赤十字社和歌山医療センターの協力を得て大学誘致を実施しています。
- 地方公共団体だけでなく、医療センター関係者も巻き込むことで、大学側にとって魅力的な条件を揃えることができます。



日本赤十字社和歌山医療センター

### ② 医療施設や既存施設等の地域資源の活用

- 看護学部の設置にあたり、実習先の確保は非常に重要な課題です。本事例では地域の医療センターを活用し、誘致を成功させています。
- また、地域の廃校を活用することで、建設投資規模を抑えたキャンパス設置を実現しています。



旧雄湊小学校

### ③ 県内高校への調査・アプローチの実施

- 誘致にあたり、県内高校の高校生に向けた進学調査を実施しており、設置後の学生数確保のエビデンスを大学側に示すことができます。
- 更に、大学職員・県職員・市職員が協力し、県内高校への新学部設置に関する説明を個別に実施していました。